

ボクの双子の妹はいつの間にか最強のトレーナーとなっていた。

naduki

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

ミシロタウンに住む少年ルビーは自分の部屋で一冊のアルバムを見つける。

そのアルバムの中にあつた一枚の写真には幼い頃の自分と隣にはある女の子がいた。

一方その頃ポケモンリーグ協会のパーティに招待されたチャンピオンや博士のお手伝いとして来ていた図鑑所有者とはある女の子とであう。

この物語のカギはその女の子の記憶だった。

注意！

・ORAS編以降のお話です。

・アローラ地方は出てきませんがサン君、ムーンちゃんは出てきません。

- ・オリキャラが出てきますがオリキャラの中で死ネタがあります。
- ・これは勝手にですがORAS編は4月あたりに起きた出来事とします。

目次

プロローグ	1
人物紹介 1	ガーネット、ヒビキ、ユウ
キ、コウキ	5

プロローグ

ここはミシロタウン。

スバメの鳴く声と共に元気な声がある一軒の家いっぱい響いた。

サファ「ルビー！おはよう！」

ラルド「ルビーは本当に行かなくていいのか？」

元気な声の主は青い瞳をしているサファイア。

その隣には緑色に瞳をしたエメラルドだった。

2人の目線の先には紅色の瞳をしたルビーの姿だった。

ルビー「うん。ボクはいいよ。来週のコンテストの衣装を間に合わせたいしね。楽しんできておいで」

サファ「ふくん。わかったたい」

ラルド「土産話を楽しみに待っていてよ！」

ルビー「うん。もちろんさ」

すると、外の方からオダマキ博士の声がした。

振り向くと車に荷物を全て乗せた状態でセンリとオダマキ博士が迎えている。

サファイアとエメラルドはルビーに「いつてきます」を言って笑顔で家を飛び出した。ルビー「さてと、二人と父さんたちは出て行つたし母さんはサファイアのお母さんと出かけている。自分の部屋で作業をしよう」と

ルビーは朝ご飯に使つたお皿を洗つて二階へとあがり、自分の部屋へと向かう。

自分の机を見ると昨日の衣装を作つていたままの状態だった。

そして、その隣には分厚い本。

本というよりはアルバムだ。

80日コンテスト制覇の旅以降もボクは日常生活をカメラに収めてはこうしてアルバムに保管している。

ルビー「アルバムも本棚に入りきれなくなつたね。そろそろ本棚を買つてもらわないと」

本棚のそばによつてルビーは手に持つていたアルバムを片付けるとあるアルバムに目を付けた。

そのアルバムは他のアルバムとは違い薄汚れているアルバム。

ボク自身も最近は見えていない一冊のアルバム。

そつと開いてみるとそこにはジョウトのコガネシティの公園で撮つた写真。

につこりと笑うかつてのバトル好きだった幼い頃のボクと隣には同じような顔を

した女の子。

ルビー「……ガーネット」

いつの間にか頬には暖かいものが伝う感覚と開いたページには数滴の雫があつた。

そして、同じ時間帯上空。

？「今日もいい天気だね、スーバ！」

スーバと呼ばれたオオスバメは女の子をのせて鳴いた。

女の子が手に持っているのはポケギアと小さな手紙。

その送り主はポケモンリーグ協会。そしてあて先はガーネットと書かれている。

すると、ポケギアに誰かから電話がかかってきた。

画面には「ヒビキ」と書かれてある。

ガーネットは電話を掛けると男の子の声が出た。

ネット「どうしたの？ヒビキ？」

ヒビキ「どうしたの？じゃないって。ガーネット今どこ？」

ネット「今？今はポケモンリーグ本部に向かっているよ？」

ヒビキ「どうして？」

ネット「だって、今日はリーグからパーティが開かれて全国のジムリーダーとか四天

王とかいろんな人がお呼ばれされているんだよ?」

ヒビキ「それ本当?! あっちゃん」

ネット「? どうしたの?」

ヒビキ「さつきユウキとコウキから電話がきてジムリーダーや博士がいなくて大騒ぎしててさ。ガーネットなら何かわかるんじゃないかと思って連絡したわけ。」

ネット「really? それはそれは・・・お気の毒に。まあ、伝えておいて」

ヒビキ「了解。じゃあね」

ネット「はい」

電話をきって風を感じる。

ガーネットはスーバに寄り添いこういった。

ネット「パーティが終わったらシロガネ山に行こうか。もうすぐであの子たちの・・・これ以上は言わないでおこうか。久しぶりだね、ジムリーダーさんたちに出会うのは」
着いたのは夕方。大きな建物は夕焼けに照らされていてとてもきれいだった。

人物紹介1 ガーネット、ヒビキ、ユウキ、コウキ

〈ガーネット〉

7月2日生まれの女の子。実のセンリの娘でありルビーの双子の妹。

とある出来事により生き離れになってしまった。

各地方の旅をしておりいろんなポケモンを持つている他、博士たちよりも優れたポケモンの知識を持っている。

みんなからは「ガーネット」、「ネット」と呼ばれている。親しみやすくすぐに打ち解けられる。いろんな人から「鈍感」「天然」と言われている。

バトルスタイルはルビーとほぼ似ていてフィールドやポケモンたちの性格、特性などに合わせてバトルをする。しかし、ポケモンたちのレベルが野生のポケモンたちとは桁違いの強さを持つており作戦をする前に相手が倒れることが多いらしい。

長い間旅をしているせいか料理や裁縫は兄並みに得意でありよくいろんな人の服を作っているらしい。しかし、彼女の来ている服はいつもポロポロである。

性格は優しく、自分の考えたことをやり通す性格。しかし、父親に似て頑固な一面や兄と同じく重大な問題ほど自分でかかえる傾向があるため周りから心配されることも

しばしば。

幼い頃から人やポケモン思いで正義感はずよりも強かったが家族と離れ旅の途中で様々な出来事があり、人やポケモンを守る正義感をもった。

そのためか「他人優先自分のことは後回し」をすることが多く自分が他人より大きなけがをしているのに他人を優先して手当てをしたり自分を犠牲にすることが多い。

現在、スカル団とエーテル財団そして家族と離れ離れになるきっかけとなった悪の組織と敵対しており大きな事件に巻き込まれる体質。特にその悪の組織には「絶対に倒さなければいけない」と思っておりいろんな出来事を起こしてきた。

容姿は年齢にしては幼いと感じるような姿。身長は148cmとサファイアと10cm差がある。いつも木の実ばかり食べて野宿をしているため、成長が遅い。瞳の色は名前の通り柘榴色ではなく、どちらかというと深紅色。人によつては深紅色だという人や朱殷（しゅあん）色だと言われている。イメージカラーは濃い赤。

髪は黒で肩までの長さ。スポーティな服でたまにフード付きのマントを被っている。可愛い形だが男装をしたことがあるらしい。

ポケモンは多い為ほとんど放し飼いのような感じになっている。いくつかのグループに分けてその中でリーダーを作るなどわかりやすくすべてのポケモンがガーネットになつているため指示すればその通りにしてくれる。巨体の大きいポケモンなどは

モンスターボールにいられている。

〈ヒビキ、ユウキ、コウキ〉

ガーネットの仲間。旅の中で出会った。

ガーネットと同世代である。

ヒビキは少し天然な性格。方向音痴。HGSの男の子主人公モデル。

ユウキはやんちゃな性格。ツンデレ。RSEの男の子主人公モデル。

コウキは明るく元気な性格。苦勞人。DPtの男の子主人公モデル。